

## 年末年始の本船荷役実績の傾向等について (2020.12.31～2021.1.4)

### 1. 昨年との比較

		昨年	
◦年末年始荷役実施港	60港	(53港)	
◦荷役隻数 (外航・内航の合計)	726隻	(672隻)	54隻増
内訳			
コンテナ船	198隻	(234隻)	36隻減
RORO船	42	(40)	2隻増
自動車専用船	4	(2)	2隻増
在来船	278	(230)	48隻増
その他船	204	(166)	38隻増

### 2. 傾向と要因

- ・年末年始荷役実施は、前年と比べ7港増加している。  
隻数については、全国では54隻の増、6大港では25隻の増となっている。  
船型については、コンテナ船のみが減少し、それ以外の船型は増加している。
- ・「コンテナ船」の減少の要因としては、新型コロナウイルスの影響、及び東シナ海での荒天の影響により中国航路船が大幅に減少したためと考えられる。
- ・「在来船」と「その他船」の増加の要因としては、新型コロナウイルスによる影響で鋼材や原材料等の落ち込みから、最近の回復傾向によりこれらの需要が増加しているためと考えられる。

### 3. 外航コンテナ船取扱個数の比較

- ・隻数は減少しているものの取扱個数は、堅調な動きとなっている。  
コンテナ船198隻のうち、外航コンテナ船は194隻であり、隻数では前年を40隻下回っているものの、取扱個数は全国では、約10万3000TEUで、前年より約2100TEU増加している。6大港では、146隻であり、前年を28隻下回っているが、取扱個数は約9万2000TEUで、前年より約7000TEU増加している。

年末年始の本船荷役実績  
 (2020.12.31 ~ 2021.1.4)

(隻)

区分		コンテナ船	その他 〔RORO、自動車〕 〔在来船、その他〕	合計
主要港	東京	28 (35)	4 (7)	32 (42)
	横浜	36 (35)	3 (3)	39 (38)
	川崎	2 (4)	11 (16)	13 (20)
	名古屋	31 (28)	12 (11)	43 (39)
	大阪	18 (24)	49 (49)	67 (73)
	神戸	18 (33)	2 (6)	20 (39)
	関門	14 (15)	27 (14)	41 (29)
	6大港計	147 (174)	108 (106)	255 (280)
その他主要港	千葉	3 (0)	25 (22)	28 (22)
	清水	6 (6)	3 (2)	9 (8)
	四日市	6 (6)	7 (5)	13 (11)
	博多	16 (13)	7 (7)	23 (20)
	その他主要港計	31 (25)	42 (36)	73 (61)
11港計		178 (199)	150 (142)	328 (341)
その他の港湾 (49港)		20 (35)	378 (296)	398 (331)
合計 (60港)		198 (234)	528 (438)	726 (672)

注) 1. ( )内の数値については昨年実績  
 2. 数値は、外航船、内航船の合計値